

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）						対象年度		令和6年度						
事業番号	31	事業名	低所得妊婦初回健診費助成事業			担当課		子ども家庭課						
			(中事業名) 妊娠・出産支援事業			予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-4-2 妊娠・出産支援事業		決算書ページ		155	~	155
総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち											
	政策	1	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援											
	施策	(2)	安心して出産できる環境の充実											
	開始年度	令和6年度												
その他	終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性					両者と協働不可				
	根拠法令等	母子保健医療対策総合支援事業												
	関連計画													
I 基本情報	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）			アウトカム（詳細はⅢへ）							
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 5		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか) 【アクションプラン指標】 助成件数 【その他の指標】			③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか) 低所得の妊婦が孤立することなく、必要な支援につながる。 (成果指標名) 低所得妊婦からの相談件数		④最終成果 (大事業の将来像)					
		低所得の妊婦について、経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成する。												
II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標名				単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
	1	【アクションプラン指標】 助成件数			件	基準値	-	目標値	5	5	5	5	5	
						目標値	5	実績	1					
	2					基準値		目標値						
						目標値		実績						
	3					基準値		目標値						
						目標値		実績						
	4					基準値		目標値						
						目標値		実績						
	事業開始の背景	母子保健医療対策総合支援事業の一環として令和6年度から母子保健衛生費国庫補助金の対象事業とされた。必要な健診を受けることができ、母子の健康維持や医療費の削減、出生率の向上などが期待されている。												
各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由														
エピソード	R6	令和6年度4月から事業を開始し、令和6年度は1件の助成件数であった。非課税世帯数などから目標値を予測して設定したが、実際には低所得世帯の状態の妊婦は予想よりも少ないと考えられる。					R7							
	R8						R9							

III 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK） 低所得妊婦からの相談件数	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標																		
				件	年度	年度	【現状】	6 年度	8 年度	10 年度													
					1	2	1	2	2														
		成果達成状況					指標目標値の根拠																
		D A.想定より良い B.想定どおり C.どちらともいえない D.想定を下回っている					令和6年度からの事業であり、令和6年度の実績が1件だったため。																
	評価の理由、分析																						
	令和6年度から始まった事業のため、利用者がいるかどうかわからない状態で始めて、1件だけがあった。制度を利用することで、助成だけでなく、保健師の相談などにつなげることができた。																						
	今後の方向性			今後の方向性の理由																			
	B A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止			年度毎に数件の助成件数を見込む想定である。低所得の妊婦へ費用の助成だけでなく、相談などの伴走型の支援を継続的に実施していく。																			
改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)																							
加える変化（ACTION）	見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容						見直し可能年度														
										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	令和6年度の実績が1件であったことから、今後数年間の実績を踏まえた上で、目標値を精査する。												
																	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止						
IV 費用 令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比） B A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止 理由 母子保健医療対策総合支援事業実施要綱に定められた事業であり、低所得の妊婦への支援を継続していくため。			(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度													
											事業費		予算	決算	予算	決算	予算						
													未実施	未実施	50	6	30						
													特定財源		合計額		25	3	15				
															(内 国費)		25	3	15				
	(内 県費)																						
	積算額		(内 諸収入)																				
(内 その他)																							
R7年度予算の内訳 <細々節名、予算額、(R6年度予算額)>		一般財源		25	3	15																	
		産後ケア事業委託 8,700千円 (0千円) 低所得妊婦初回健診助成金 30千円 (0千円) 産前・産後サポーター派遣事業委託 2,048千円 (2,036千円) 低所得妊婦初回健診助成金 0千円 (50千円) 産後ケア事業委託 0千円 (4,081千円)																					
3年間の推移		未定																					